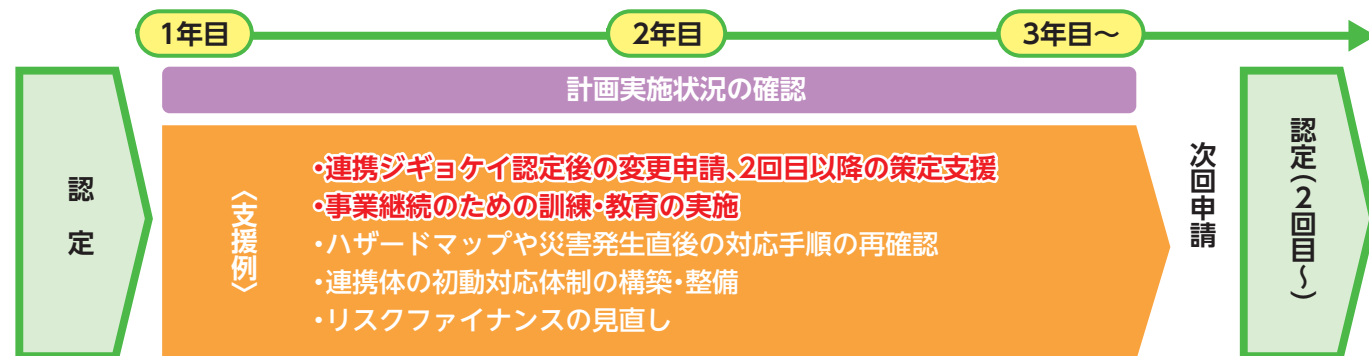




連携ジギョケイフォローアップ支援(無料)

ジギョケイは、実施期間3年後に再度の申請・認定が必要となります
ジギョケイの認定で終わりにしないために、
中小機構では認定後のフォローアップ支援も無料で実施します

実施期間(最大3年間)



連携ジギョケイを策定した事業者 事例紹介

株式会社アウトテック松坂



遠隔地の同業他社との連携で
地域の災害復旧を手厚く

愛知県刈谷市を拠点とする建設会社で、「美しく暮らそう」というフィロソフィー(経営理念)のもと、屋根工事、外壁工事、太陽光発電機工事などを事業領域とする。社員のほか、協力会社との連携、外部の職人を活用する「登録親方制度」を推進。東海三県で高いシェアを持つ。さらに次世代を見据え、社内外の人材の連携による若手職人育成にも力を入れる。

■所在地: 愛知県刈谷市小垣江町御茶屋下62-1
■業種: 建設業
■従業員数: 13名
■ホームページ:
<https://autekku.co.jp/>



こちらからご覧ください→

株式会社 オーツカ



同業者同士がともに助け合う、
真の連携を目指して

自動車用内外装材、インテリア用カーペット、産業用資材等の不織布を製造、不織布の月間生産量は約300万平米。最大拠点である関ヶ原工場(岐阜県不破郡関ヶ原町)をはじめ、第2関ヶ原工場、柏原工場、各務原工場、九州工場、本社工場で生産体制を確立。新工場の九州工場に生産拠点を分散することによる強化と、遠隔地にある同業者との連携型の事業継続力強化計画により、リスクヘッジを図った。

■所在地: 岐阜県羽島郡笠松町門間1815-1
■業種: 自動車用内外装材(不織布)製造
■従業員数: 225名
■ホームページ:
<https://www.otsukacorp.co.jp/>



こちらからご覧ください→

ユーアイ精機株式会社、 有限会社ハチスカテクノ



平時にこそ企業の役に立つ
「連携型ジギョケイ」の作り方

両社は愛知県内に位置する製造業の小規模事業者同士の連携。1社単独の事業継続に限界があると感じた両社は、連携ジギョケイによって災害発生時の代替生産や人材交流、情報共有を取り決めた。連携ジギョケイをきっかけに平時でもトップミーティングやワイヤーカットの技術交流、取引先情報の交換を行い関係を深めている。また、東海地域の展示会に共同出展し、連携による技術力向上や代替生産場所があることによる事業継続力の高さをアピールしている。

■所在地: 愛知県尾張旭市庄中町2-13-12(ユーアイ精機)
愛知県海部郡蟹江町南一丁目52番地(ハチスカテクノ)
■業種: 金属製品製造業
■従業員数: 10名(ユーアイ精機)、6名(ハチスカテクノ)
■ホームページ:
<http://www.yuai-seiki.co.jp/>
<https://hachitec.jimdoweb.com/>



こちらからご覧ください→

連携ジギョケイに興味のある方は、**まずはご相談ください**

中小機構 中部本部 地域・連携支援課

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-2-13名古屋センタービル4階

TEL 052-201-3009

単独ジギョケイ策定支援(ハズオン支援/相談窓口・無料)

※ハズオン支援: 1回1〜2時間×1〜4回程度、Webシステムまたは対面

※相談窓口: 1回、メール、電話及びオンライン

※年度内で期限を定め、中小機構HPで受付

※2026年1月版



無料

あなたの会社

災害への備えはできていますか?

連携ジギョケイ策定支援のご案内

(連携事業継続力強化計画)

南海トラフ巨大地震や激甚水害等の

自然災害の発生への備えはできていますか?

事業活動に与える影響に対して、一社の中小企業が対策するには限界があります



連携ジギョケイを策定しましょう!

他の企業と連携することで、人員・設備等の融通、情報共有など、
一社単独では対応できない状況を助け合うことができます



中小機構は、連携ジギョケイ策定を

無料で支援しています

連携ジギョケイ策定支援(アドバイザー派遣・無料)

※派遣支援: 1回2時間×3〜4回程度

実効性のある連携ジギョケイ策定を、訪問を中心に申請・認定までサポート

中小機構中部本部にて**常時**受付中!



「ジギョケイ(事業継続力強化計画)」とは？



- ✓ 防災・減災に取り組む中小企業・小規模事業者が、所定の要件に基づいた「事業継続力強化計画」を策定し、経済産業省が認定を行う制度です。
- ✓ 2019(令和元)年7月に中小企業強靱化法が施行され、同計画の認定制度がスタートしました。
- ✓ 計画の認定を受けた中小企業・小規模事業者は、様々な支援策を活用いただけます。



「BCP」と「ジギョケイ」の違い

ジギョケイは、BCP (Business Continuity Plan: 事業継続計画) のはじめの一步です。経済産業省が認定する中小企業のためのBCPと位置付けられています。

BCP (= 事業継続計画)

- 重要業務と目標復旧時間の決定
- 事業継続戦略(復旧・代替・お互い様) ※連携ジギョケイ
- 業務復旧・再開対応態勢と再開プロセス
- 継続的改善プロセスと訓練計画の策定

事業継続力強化計画(ジギョケイ)

- 事業継続力強化の必要性の認識
- 災害・脅威の認識と想定される被害の把握
- 初動対応の策定
- 事業継続に向けた事前準備(人・モノ・金・情報)
- 実効性を高める取り組み(計画の見直し・訓練)



連携の種類

組合等を通じた連携

同業種の団体間で協力、人員の融通、設備の共同購入・相互利用

サプライチェーンで連携

需給情報、被害情報の共有、サプライヤー企業による復旧支援

地域で連携

地域の共同避難計画、合同訓練、電源・備蓄品の共同管理

その他の連携

グループ企業・関連会社間での連携、人員・設備の融通、原材料・部品確保の協力



認定企業への支援策

認定
ロゴマーク

補助金の優遇措置
(ものづくり補助金、
なりわい再建支援補助金等)

税制優遇

日本公庫の
低利融資

信用保証枠の
拡大



連携ジギョケイ策定のメリット

連携ジギョケイの認定を受けた場合、計画に参加し連携するすべての事業者が認定を受けたことになり、認定企業への支援策が活用できます。連携ジギョケイは国内の中小企業2社以上の連携体で作ります。

A代表企業
中小企業



B連携企業
中小企業